

SCE・Netの受託業務について

SCE・Netは、名前の通り、シニアのケミカルエンジニアの集まりであるが、所属会員のシニアとしての比較的フリーな立場を活かして、その豊富な経験と実地に培った技術・知識を、外部社会への貢献と自身の生きがい充実に繋げることを目的に、10年以上に亘り、専門知識の必要な中小企業や、プロセス技術の構築・工場建設等の工業的実施経験の少ない開発系の企業からの要請を受けることなどを中心に、外部からの業務依頼を受け付け、業務受託活動を実施している。

受託業務の内容は、特定分野の専門知識を活かしたセミナーや社員教育の講師、新技術や業界動向等の啓蒙的原稿の執筆、研究開発立案・実施上のコンサルティングから、実際の工場建設の実地指導、工場の安全管理体制の整備等まで多岐に亘る。とりわけ、年代的にも、石油化学を中心とした新規事業の立ち上げ期での幅広い実業経験豊富な会員たちの広範な知識・経験は、現在では、貴重な知的資源として、外部から求められることも多く、依頼先の要望と、個々の会員の経験・技術・知識をマッチングさせることで業務受託案件の受諾率もかなり高くなっている。

現在も継続している2年を超えるコロナ感染下の時期にも、オンラインコミュニケーション手段活用のインフラの整備もあり、むしろ、遠隔地企業との取り組みが容易になり、当該地域在住会員による対応も可能になったことから、取り組みの幅が広がっている。

SCE・Netでは、化学工学会シニア会員になられた方々の入会が増加しているが、業務受託の活動も、こうした最近の技術経験に富んだ多くの会員の参加により、活動を充実させ、SCE・Net全体の活動充実とできるだけ多数の会員のモチベーションのアップに繋げていくことを期待している。

(SCE・Net 事務局 猪股 勲)